【外皮性能】一部異なる開口仕様を個別設定する方法

文書管理番号：1143-03

Q.質 問

外皮性能計算で、一部の「窓」の開口仕様を、別の開口仕様に変更したい。

A.回 答

(外皮性能計算)で(部材一括変更)から変更後、一部の開口仕様が一括設定した開口仕様と異なる場合は、「部材設定一覧」の「開口部」から個別に変更ができます。

ここでは「令和 3 年 4 月 1 日以降の仕様」で説明します。計算方法の仕様については P.7【参考】をご確認ください。

開口部の断熱仕様は、「【A】建具とガラスの組み合わせによる設定」と、「【B】試験値・計算値による設定」の 2 つのタイプがあります。



＊　開口部の断熱仕様（開口仕様）についてはこちらをご覧ください。

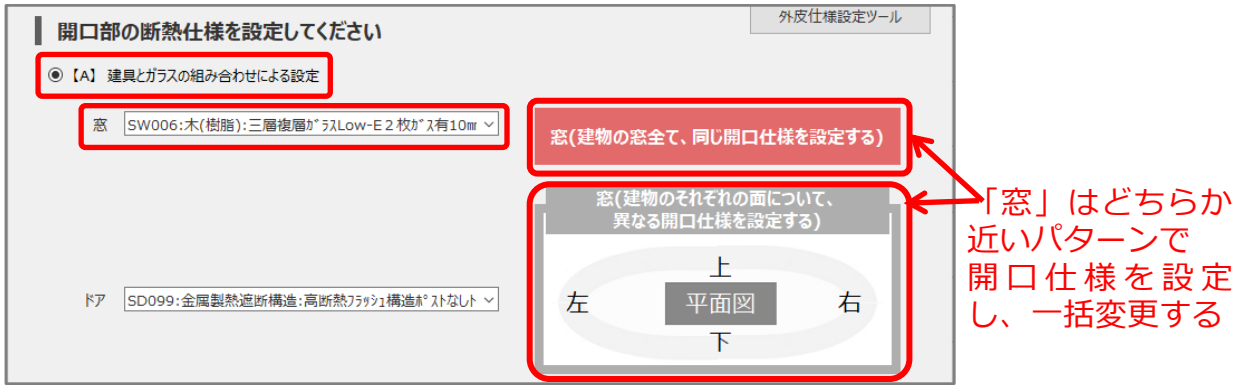
[1135]【外皮性能】開口仕様について

参考：断熱仕様②の設定

部材一括変更の断熱仕様②でのそれぞれの設定方法は以下の通りです。

- **【A】建具とガラスの組み合わせによる設定の場合**

「建物の窓全て、同じ開口仕様を設定する」方法と「建物のそれぞれの面について、異なる開口仕様を設定する」方法のどちらか近いパターンで開口仕様をまとめて設定し、「一括変更」を行うと「部材設定一覧」から個別に変更する箇所が少なくなります。



＊　「窓(建物のそれぞれの面について、異なる開口仕様を設定する)」を選択する場合は、プラン図で入力している向きで上・下・左・右を判断し、各方位に該当する開口仕様を設定してください。

- **【B】試験値・計算値による設定の場合**

建具種類ごとに開口仕様を設定し、「一括変更」を行うと「部材設定一覧」から個別に変更する箇所が少なくなります。

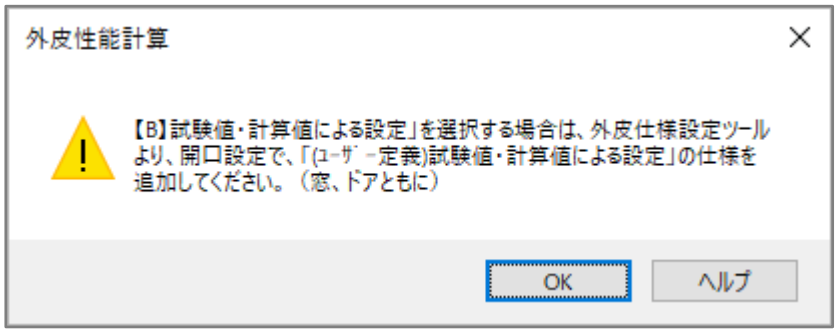
＊　開口仕様は、腰窓（引き違い窓・縦すべり出し窓・FIX 窓・横すべり出し窓・開き窓・内倒し窓・ドレーキップ・その他）、掃き出し窓（引き違い戸・片引き戸・その他）で、それぞれ設定できます。



【注意】【B】「試験値・計算値による設定」の開口仕様

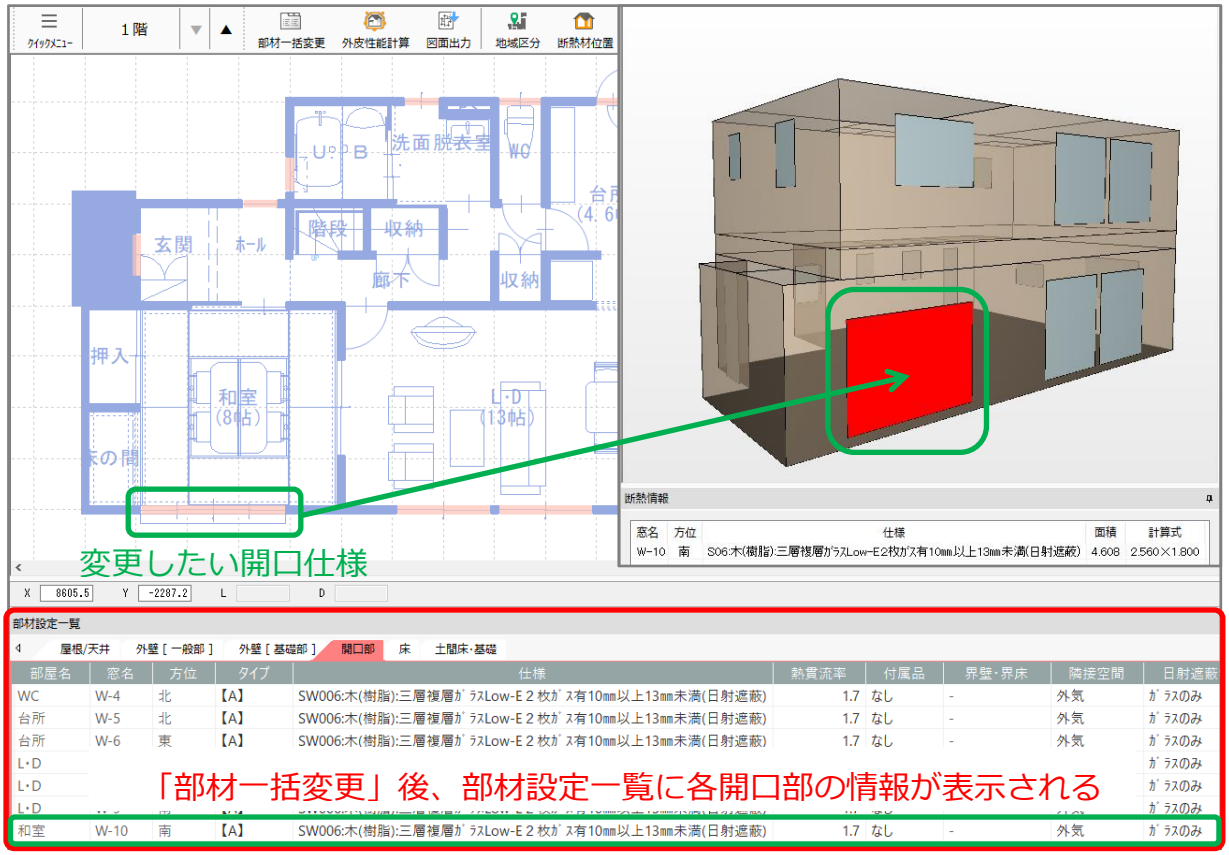
「【B】試験値・計算値による設定」を利用する場合は、開口仕様をユーザー定義に登録する必要があります。ユーザー定義への登録方法については、A's（エース）のヘルプをご覧ください。

「【B】試験値・計算値による設定」の開口仕様に登録がない場合、以下のメッセージが表示されます。



操作手順：部材設定一覧で個別に変更する方法

ここでは下のように、(部材一括変更)後「部材設定一覧」に表示された開口仕様のうち、1 階南面にある和室の「窓」を別の開口仕様に変更する方法を説明します。

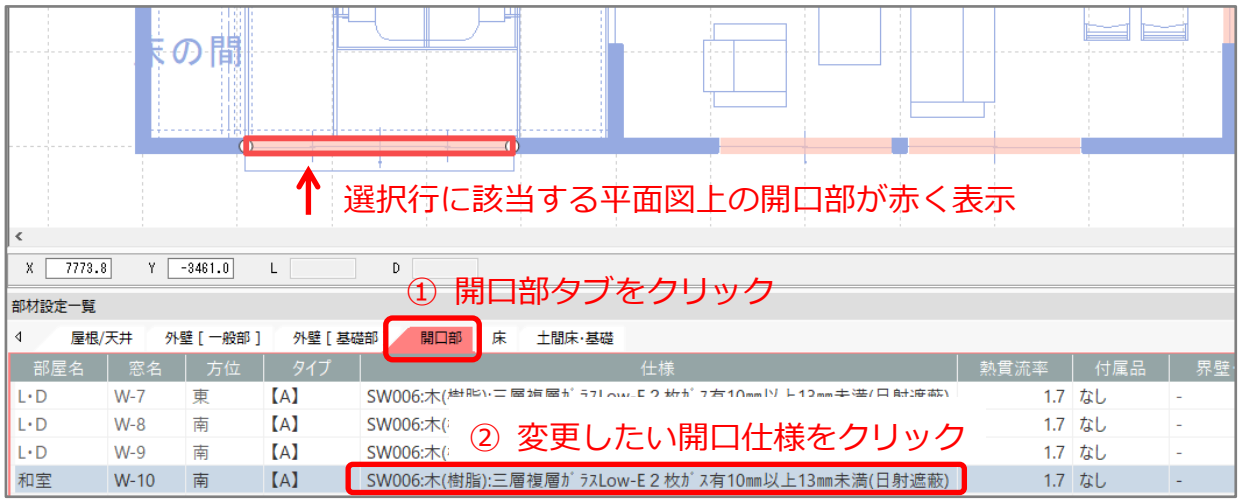


＊ (部材一括変更)では、「【A】建具とガラスの組み合わせによる設定」を選択しています。

① 「部材設定一覧」の「開口部」タブをクリック

② 変更したい開口仕様をクリック

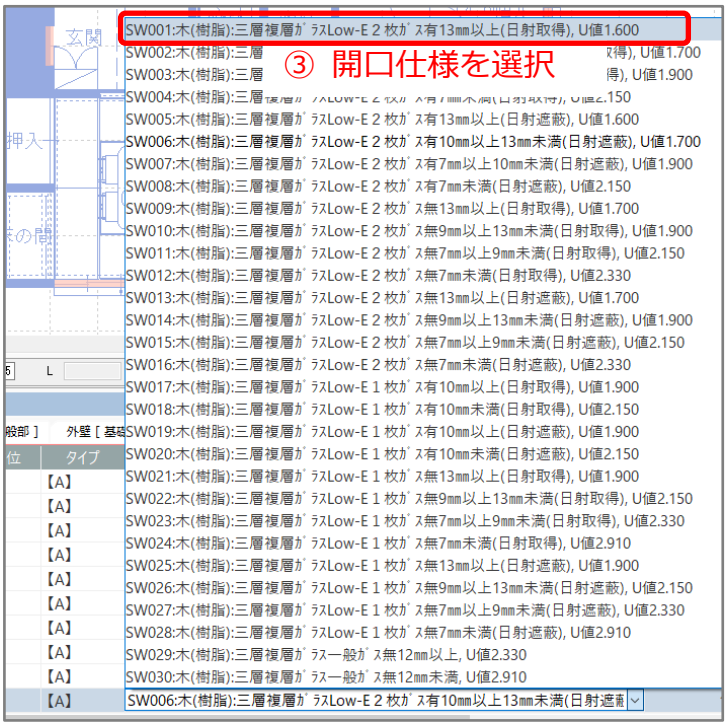
＊ 選択行に該当する平面図上の開口部が赤く表示されます。



＊ 開口部の選択方法については、P.6 の参考をご覧ください。

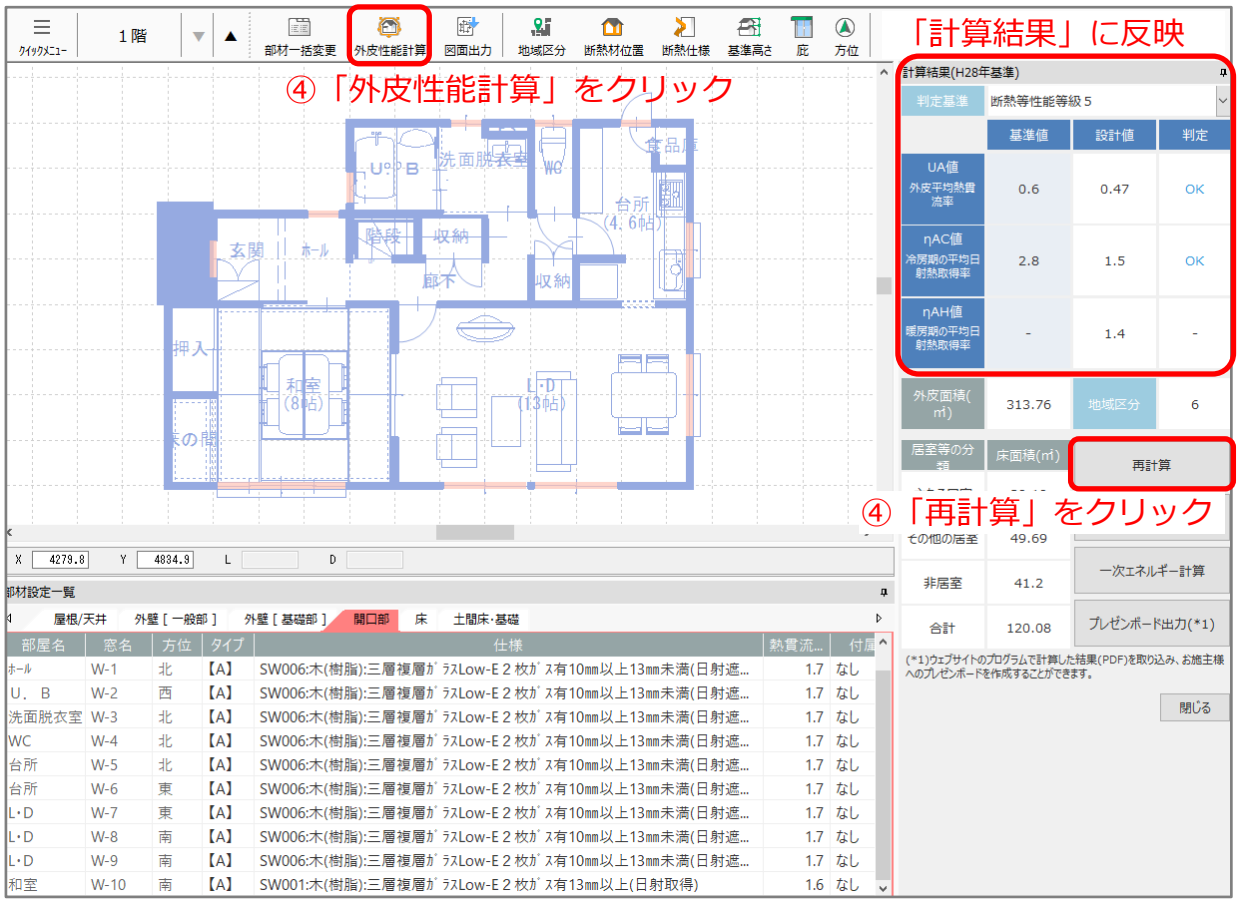
③ 仕様のプルダウンリストから希望の「開口仕様」を選択

＊ ここでは「SW001：木(樹脂):三層複層ｶﾞﾗｽLow-E２枚ｶﾞｽ有13㎜以上(日射取得)」を選択します。



④ (外皮性能計算)または計算結果の「再計算」をクリック

＊　計算結果に反映されます。

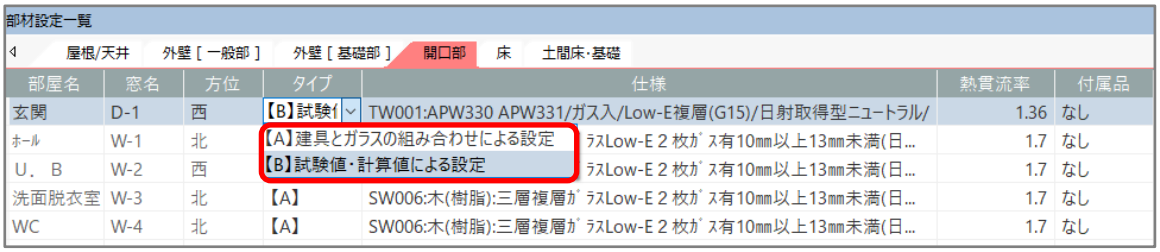


【注意】

「部材設定一覧」で各部位の断熱仕様や情報を個別に変更した後、(部材一括変更)を再度行うと、「部材設定一覧」で個別に変更した設定内容はクリアされ、「部材一括変更」の設定内容に変わります。

【参考】開口部のタイプ【A】・【B】について

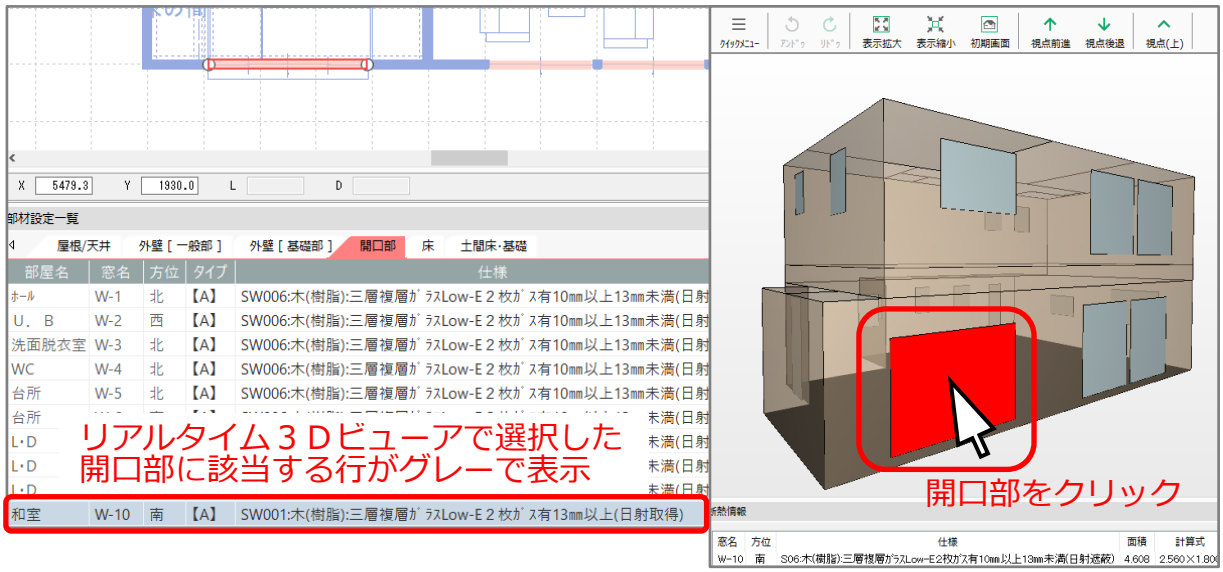
タイプ【A】「建具とガラスの組み合わせによる設定」と【B】「試験値・計算値による設定」の切り替えは、プルダウンリストから個別に行えます。



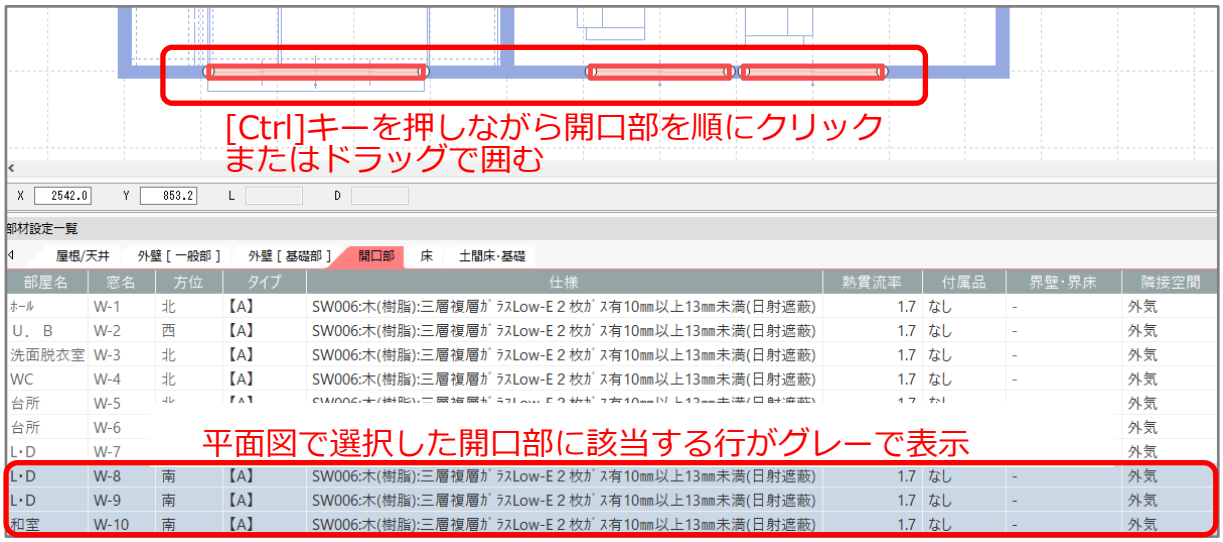
参考：開口部の選択方法

「部材設定一覧」での開口部の選択方法には、以下の方法があります。

- **リアルタイム３Ｄビューアで選択する場合**
  - ＊ (リアルタイム３Ｄビューア)で開口部をクリックすると開口部が赤く選択され、「部材設定一覧」では該当する開口部の行がグレーになり、行選択されます。
  - ＊ まとめて開口部を選択することはできません。



- **平面図で選択する場合**
  - ＊ 平面図で開口部をクリックすると赤く選択され、「部材設定一覧」では該当する開口部の行がグレーになり、行選択されます。
  - ＊ キーボードの[Ctrl]キーを押しながら平面図の開口部を順にクリック、または対象の開口部をドラッグで囲むとまとめて選択ができます。

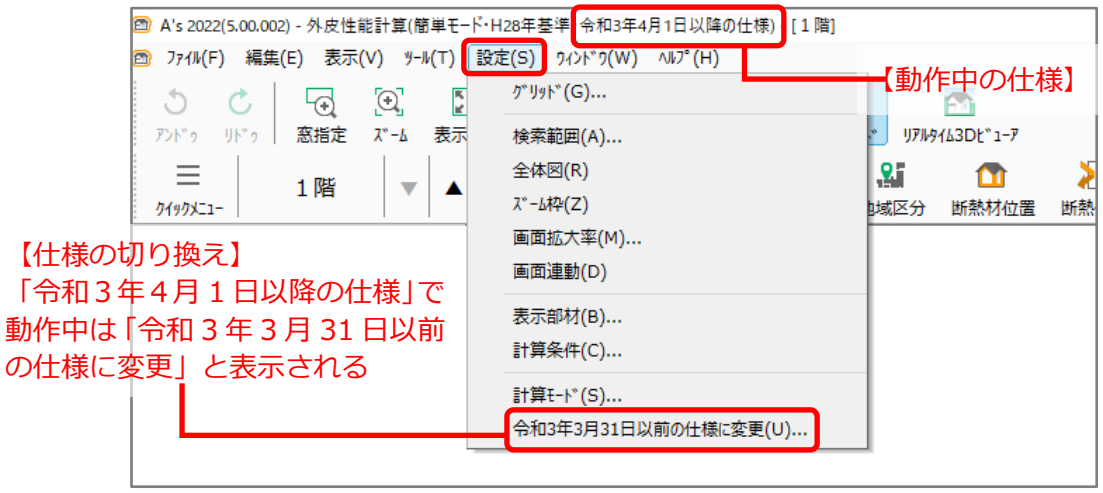


  - ＊ キーボードの[Shift]キーを押しながら選択したい最初と最後の行をクリックすると、まとめて連続選択ができます。

【参考】計算方法の仕様について

外皮性能計算は、「令和３年４月１日以降の仕様」（令和３年４月１日施行の「改正建築物省エネ法」に準拠した計算方法）、「令和３年３月31日以前の仕様」（これまでの計算方法）の両方に対応していますが、申請等には「令和３年４月１日以降の仕様」をご利用ください。

計算方法の仕様は「設定」メニューより変更でき、どちらの仕様で動作しているかは、画面上部のタイトルバーで確認できます。計算方法の仕様を変更すると、元の仕様で設定した外皮仕様や条件を初期化し、計算内容がリセットされます。



【注意】外皮仕様設定ツールのユーザー定義について

外皮仕様設定ツールの内容は「令和３年４月１日以降の仕様」と「令和３年３月31日以前の仕様」とで管理が異なります。

「令和３年４月１日以降の仕様」で動作した際は、「令和３年３月31日以前の仕様」で追加したユーザー定義の「材料」と「屋根、天井、外壁、床」の断熱仕様は、取り込みを行うと内容を引き継いで使用できます。

「開口仕様」については、取り込みを行うことができません。「令和３年４月１日以降の仕様」のユーザー定義で、新たに登録してご使用ください。